



ストロークアップクランクキット 取扱説明書

ストローク 50 mm

商品番号	クランクシャフト適応車種およびフレーム番号
01 10 8132	6Vモンキー/ゴリラ Lクランク: Z50J 1600008~1805927
01 10 8432	モンキー : Z50J - 2000001~ XR50R : AE03 1000001~
	ゴリラ : Z50J - 2500001~ CRF50F : AE03 1400001~
	モンキーBAJA : Z50J - 1700001~ XR70R : DE02 1000001~
	モンキーR : AB22 - 1000017~ CRF70F : DE02 1700001~
	モンキーRT : AB22 - 1007601~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。このキットの取り付けにはエンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要になります。上記適合車のホンダ純正サービスマニュアルを準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。ボルト、ナット、ロックピン、パッキンは、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。液体パッキン等は指示部のみに使用し、指示無き部分は使用しないで下さい。オイル通路を塞ぐ可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。また、燃料タンクのガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合はハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。点火系は当社製もしくはノーマルのみ適合とします。他社製品との組み合わせのデータはありません。また、トラブルの原因にもなりますので絶対行わないで下さい。外部のオイルフィルターを装着して下さい。必要に応じてオイルクーラーを装着して下さい。エンジンオイルはAPI SF級以上で、SAE 10W-40 / 15W-50程度の物をご使用下さい。使用回転数の上限は12000rpmとなります。エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。スプロケットは出力、仕様に応じた物に変更して下さい。このキットは単独で使用出来ません。このキットは当社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは当社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

～ 特 徴 ～

当社製ポアアップキットとの組み合わせで、106ccに排気量をアップし、絶大な効果を発揮します。クランクシャフトは低振動を目指したバランスカットで軽量に仕上がっております。

急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

走行前の注意

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

当社推奨エンジンパーツ

このキットは当社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは当社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

01 10 8432

推奨パーツ	
ボアアップキット	DOHCボアアップキット スーパーヘッドボアアップキット スーパーヘッド+Rボアアップキット Rステージ+Dボアアップキット レギュラーヘッドボアアップキット
クラッチ	乾式クラッチキット スペシャルクラッチキット
点火系	ノーマルC.D.I. ハイパーC.D.I. C.D.I.マグネットキット

01 10 8132

推奨パーツ	
ボアアップキット	DOHCボアアップキット スーパーヘッドボアアップキット Rステージ+Dボアアップキット レギュラーヘッドボアアップキット
クラッチ	乾式クラッチキット スペシャルクラッチキット
点火系	C.D.I.マグネットキット: 05 02 082 C.D.I.マグネットキット: 05 02 031

当社製品で取り付け不可の製品

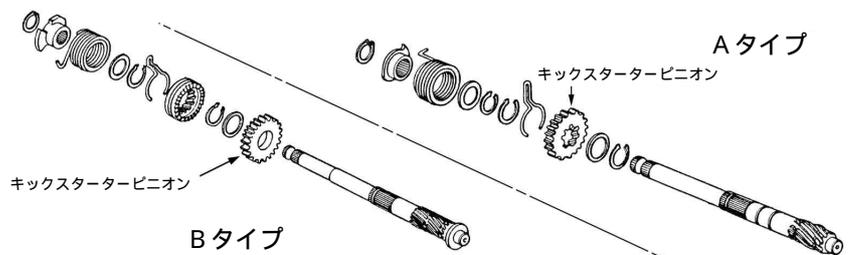
旧型インナーローターC D I使用について



5速トランスミッション使用時について

5速ミッションキットを取り付ける場合キックスタータースピンドルがAタイプの場合は必ずBタイプに交換して下さい。キックスタート時にトルクの伝達効率が向上しギヤにかかる負荷を軽減できるため、ギヤ破損防止にもつながります。

Bタイプキックスタータースピンドル交換の場合はキックスターターピニオンも同時に交換が必要です。ミッションキットに合った歯数の物に交換して下さい。Aタイプのキックスターターピニオンは使用出来ませんので注意して下さい。



品名	品番
Bタイプキックスタータースピンドルキット	02 04 001
Bタイプキックスターターピニオン 23T	K 23B
Bタイプキックスターターピニオン 25T	K 25B

点火時期が当社の設定より早いものは対象から除外させていただきます。よって、他社製品との組み合わせはトラブルの原因にもなりますので絶対行なわないで下さい。

ポイント点火使用時は、ノーマルの点火時期（Fマーク・30°）よりも絶対に早くしないで下さい。

その他

オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量が増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットをお薦めします。

温度計

OIL 温度を管理する為、温度計の使用をお薦めします。

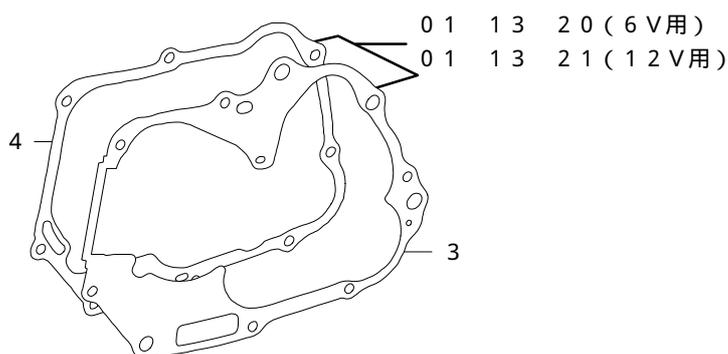
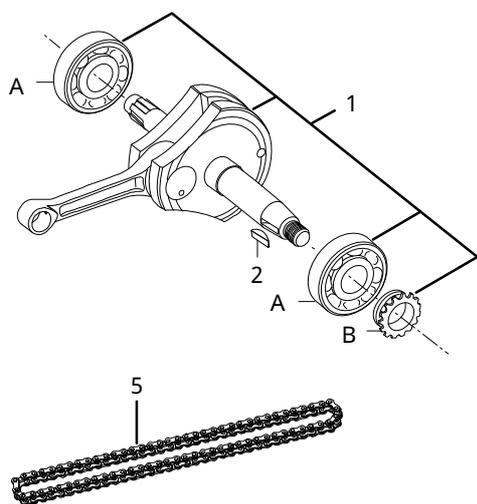
- ・デジタル温度計（07 04 0013）

使用回転数

使用限界回転数は使用するカムシャフトやシリンダーヘッド等で異なりますが、エンジン回転計を取り付け、カムシャフトやシリンダーヘッドの注意事項を守り、必ず限界回転数以下でご使用下さい。

特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意下さい。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

～ 商 品 内 容 ～



補修パーツは、下記リペア品番にてご発注下さい。又、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいます様、お願いします。

01 10 8132 (6V用)

01 10 8432 (12V用)

番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	クランクシャフトCOMP.	1	01 10 0051
2	ウッドラフキー	1	000-10-0006
3	クランクケースガスケット	1	000 13 032
4	R.クランクケースガスケット	1	11394 035 T00
5	強化カムチェーン(82L)	1	01 14 002

番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	クランクシャフトCOMP.	1	01 10 0071
2	ウッドラフキー	1	000-10-0007
3	クランクケースガスケット	1	11191 GB4 T00
4	R.クランクケースガスケット	1	11394 035 T00
5	強化カムチェーン(82L)	1	01 14 002

記号	部 品 名	個数	リペア品番
A	ラジアルボールベアリング	2	TMB304JR2/22CS14
B	タイミングスプロケット	1	14311 035 T00

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

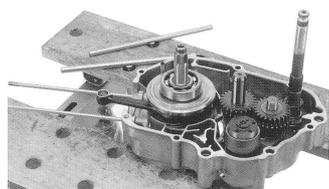
URL <http://www.takegawa.co.jp>

～ 取 り 付 け 要 領 ～

取り外し

下記作業は必ずサービスマニュアルを参照し行って下さい。

サービスマニュアルを参照し、エンジンを車体から降ろします。サービスマニュアルを参照し、エンジンを分解し、ステータプレートを取り外し、クランクケースを分割します。



オイルポンプを取り外します。キックスタータースピンドルを外し、トランスミッション、ギヤシフトドラムを一体で取り外します。



クランクシャフトを取り外します。

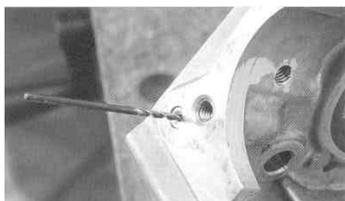


カムチェーンテンショナー周り及びガイドローラーをクランクケースから取り外します。



クランクケースからスタットボルトを取り外します。

クランクケースのボーリング加工が必要な場合はボーリング加工を依頼します。別紙用紙を参照してクランクケースのボーリング加工を依頼します。右クランクケースをスーパーオイルポンプの取扱説明書に伴いオリフィス径を拡大します。

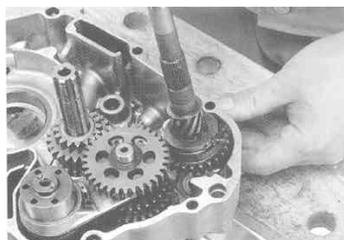


取り付け

クランクケースを洗浄します。カムチェーンガイドスプロケット、スピンドルを取り付けます。クランクケースのベアリングにエンジンオイルを差します。使用するトランスミッションの取り付け要領及びサービスマニュアルを参照し、トランスミッション、ギヤシフトドラムを左クランクケースに取り付けます。



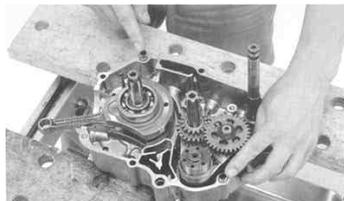
スタータースピンドルを取り付けます。



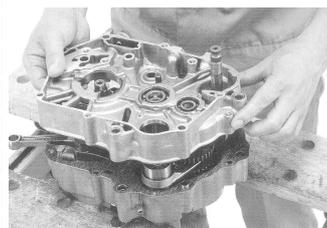
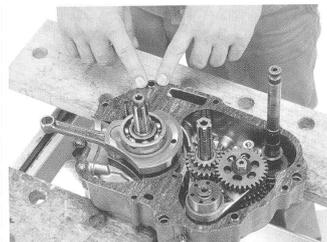
キットのクランクシャフトの大端部及びベアリング部にエンジンオイルを差します。



クランクケースにクランクシャフトを取り付け、クランクケースにノックピンをセットします。



クランクケースにキット内のガasketをセットし、右クランクケースを取り付けます。



クランクケースボルトのネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、クランクケースにボルトをセットし、対角線上に規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

$$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



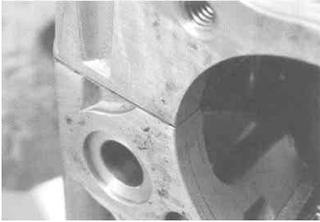
ギヤシフトドラムワッシャの向きに注意し、六角ボルトを用いて規定トルクまで締め付け、ラバープラグを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

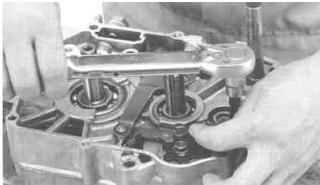
$$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



クランクケースガasketのホール部分と、シリンダー合わせ面をカッター等で切り落とし、フラットに仕上げます。クランクケース内にガasketくずが入らない様、注意すること。



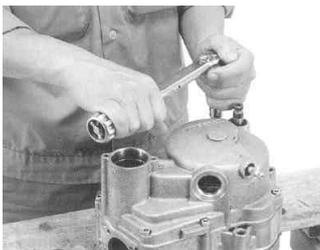
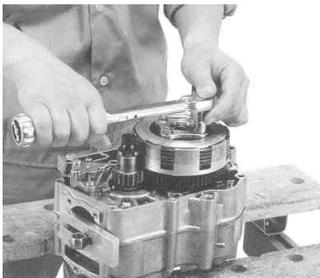
再度左側をトランスミッションの取り付け要領及びサービスマニュアルを参照し、組み付けていきます。



オイルフィルタースクリーンを取り付け、スーパーオイルポンプを取扱説明書の指示どおり取り付けます。



使用するクラッチキットの取り付け要領を守り、クラッチを組み付けます。

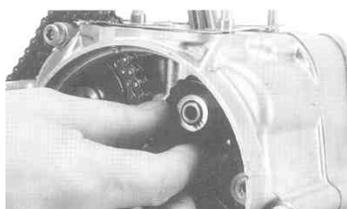


クランクケースにスタットボルトを取り付け、規定トルクで締め付けます。短い方のスタットボルトBをクラッチ側に取り付けます。

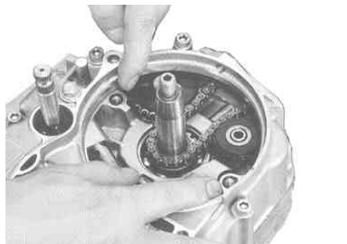
$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
($1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



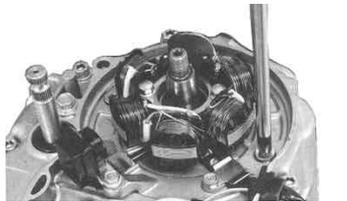
クランクシャフトにキット内のカムチェーンをセットし、テンショナーローラーを取り付けます。



Oリングを2ヶ所に取り付けます。



ジェネレータープレートを取り付け、フラットスクリューを締め付けます。



クランクシャフトに、ウッドラフキーを取り付けます。

クランクシャフトをフライホイールのテーパ面をよく脱脂し、フライホイールを取り付け、ワッシャ、フランジナットに少量のネジロック材を塗布して規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 44 \text{ N} \cdot \text{m}$
($4.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



シリンダーの取り付け要領に従い、シリンダーを取り付けます。

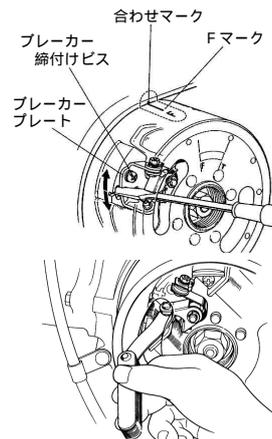
6 V車両

点火タイミングがずれていると、本来の性能を発揮しない上に、重大な故障にもつながる恐れがあります。点火タイミングの点検と調整を必ず行なって下さい。



タイミングライト

タイミングライト(00-01-009)を用いて、アイドリング時にフライホイールの'F'マークとクランクケースの合わせマークとが合っているか確認する。



調整はブレーカー締付けビスを緩め、ブレーカープレートを少しずつ動かして行う。

調整を行った後に、クランクシャフトを回してポイントの隙間が一番開く位置に合わせ、シクネスゲージでその隙間を測定する。

ポイント隙間 0.3 ~ 0.4 mm
範囲外の場合はポイントの交換をする。

特殊工具

コンロッドストッパー
品番：00-01-01



ロックナットレンチ
品番：12.7mm (1/2)
00-01-021
19.5mm (3/8)
00-01-022



フライホイールプーラー
品番：00-01-031



ユニバーサルホルダー
品番：00-01-1002



クランクシャフト整備諸元表

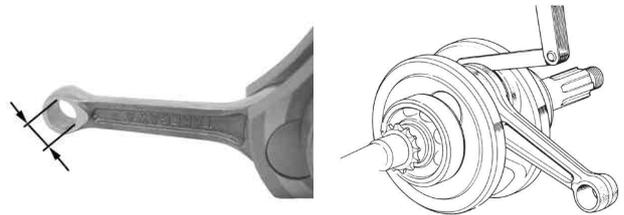
項目	標準	使用限度	備考
コンロッド小端部の内径	13.003 ~ 13.012 mm	13.03 mm	交換
コンロッド小端部とピンとの隙間	0.003 ~ 0.018 mm	0.035 mm	交換
コンロッド大端部のガタ 縦/横	0 ~ 0.012 mm	0.05 mm	交換
サイドクリアランス	0.1 ~ 0.35 mm	0.6 mm	交換
ジャーナルベアリングの遊び 軸方向	—————	0.1 mm	交換
軸受方向	—————	0.05 mm	交換
クランクシャフトの振れ	0.03 mm	0.1 mm	交換

クランクシャフトの点検

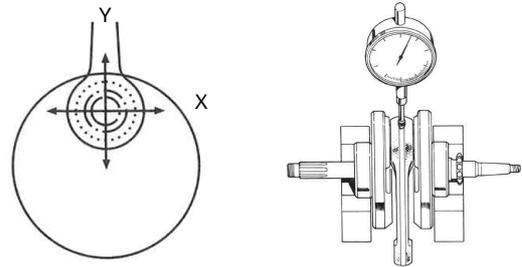
- ・クランクシャフトのフライホイール取り付け面の損傷を確認する。
損傷がある場合、フライホイールとクランクシャフトを交換する。



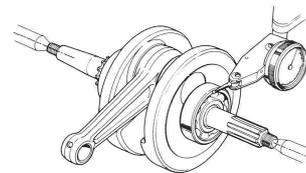
- ・コンロッド小端部の内径を測定する。
13.03 mm以上交換
- ・コンロッド大端部軸方向隙間を測定する。
0.6 mm以上交換



- ・コンロッド大端部軸直角2方向のガタを測定する。
0.05 mm以上交換



- ・クランクシャフトのジャーナルベアリングのガタを測定する。
軸方向：0.10 mm以上交換
軸受け方向：0.05 mm以上交換



- ・クランクシャフトの振れを測定する。
0.10 mm以上交換

